

## 戦前期の南方地域における建築活動と室内環境調整手法

### 1. 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究

配付資料 138 ページ以降の下記の論文を参照。なお、論文中には、配付資料としての通しページ番号は打たれていないので注意のこと（合計 52 ページ分、189 ページまで）。また論文 [1] ～ [13] は、もとは B5 判のものを A4 判に拡大。

- [1] 八幡真樹子, 辻原万規彦, 平川真由美: 「南方建築」に用いられた室内環境調整手法- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その1-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第40号・2 [環境系], pp. 129～132, 2001. 3.
- [2] 矢野詩史, 辻原万規彦, 平川真由美: 南洋群島における建築組織について- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その2-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第40号・3 [計画系], pp. 633～636, 2001. 3.
- [3] 辻原万規彦, 香山梢, 今村仁美, 平川真由美: ヤップ島に現存する日本委任統治時代の建築物(1) - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その3-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第41号・3 [計画系], pp. 413～416, 2002. 3.
- [4] 香山梢, 辻原万規彦, 今村仁美, 平川真由美: 南洋群島における建築物の床下の構造について- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その4-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第41号・3 [計画系], pp. 417～420, 2002. 3.
- [5] 辻原万規彦, 香山梢, 今村仁美, 平川真由美: 旧南洋群島への建築技術の伝播(1) - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その5-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第41号・3 [計画系], pp. 421～424, 2002. 3.
- [6] 辻原万規彦, 今村仁美, 香川治美: サイパン・チャランカノア地区に残る日本委任統治時代の建築物(1) - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その6-, 日本建築学会関東支部研究報告集 II, 第73号, pp. 453～456, 2003. 3.
- [7] 辻原万規彦, 今村仁美, 香川治美: テニアン・サンホセ地区に残る日本委任統治時代の建築物(1) - 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その7-, 日本建築学会関東支部研究報告集 II, 第73号, pp. 457～460, 2003. 3.
- [8] 辻原万規彦, 今村仁美, 香川治美: パラオ・コロールにおける日本委任統治時代の建築物の残存状況と旧パラオ支庁庁舎- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その8-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第42号・3 [計画系], pp. 609～612, 2003. 3.
- [9] 辻原万規彦, 今村仁美, 香川治美: 旧パラオ医院本館と旧南洋庁観測所および气象台庁舎

- について- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その9-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第42号・3 [計画系], pp.613～616, 2003.3.
- [10] 辻原万規彦, 今村仁美: ロタ・ソンソン地区に残る日本委任統治時代の建築物- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その10-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第43号・3 [計画系], pp.385～383, 2004.3.
- [11] 辻原万規彦, 今村仁美, 岡本孝美: パラオにおける日本委任統治時代の建築物に関する2003年と2004年の調査- 戦前期日本の南方進出に伴う建築活動と室内環境調整手法に関する研究 その11-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第44号・3 [計画系], pp.749～752, 2005.3.
- [12] 岩田紘明, 辻原万規彦, 今村仁美, 柏木史成, 古内佐知, 山本美沙, 岡本孝美: 「ベラウ国立博物館開館50周年記念特別展示- パラオの日本建築文化-」について- その1 展示の概要と南洋庁本庁庁舎の復元-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第45号・3 [計画系], pp.773～776, 2006.3.
- [13] 柏木史成, 辻原万規彦, 今村仁美, 岩田紘明, 古内佐知, 山本美沙, 岡本孝美: 「ベラウ国立博物館開館50周年記念特別展示- パラオの日本建築文化-」について- その2 パラオ熱帯生物研究所の復元-, 日本建築学会九州支部研究報告, 第45号・3 [計画系], pp.777～780, 2006.3.

## 2. 参考文献 ([ ] 内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報)

- [1] 『パラオ共和国-過去と現在そして21世紀へ-』(須藤健一監修, 倉田洋二・稲本博編, おりじん書房, 2003年4月, 20,000円, ISBN:なし) [開架2, 302.742||Ku 56, 0000276018]  
(「パラオに残る日本委任統治時代の建物」(辻原万規彦, pp.208～223) 所収)

### ミクロネシアの現況などについて

- [2] 『三省堂選書158 太平洋諸島入門』(太平洋学会編, 三省堂, 1990年9月, 1,456円+税 (2006年5月現在品切), ISBN:4-385-43158-2) [文庫本, 080||SA 1||158, 0000276648]
- [3] 『サイパン・グアム 光と影の博物誌』(中島洋, 現代書館, 2003年4月, 2,200円+税, ISBN:4-7684-6855-1) [開架2, 297.41||N 46, 0000277264]
- [4] 『ミクロネシア信託統治の研究』(矢崎幸生, 御茶の水書房, 1999年9月, 8,000円+税, ISBN:4-275-01777-3) [開架2, 312.74||Y 67, 0000276277]
- [5] 『政治空間としてのパラオ 島嶼の近代への社会人類学的アプローチ』(遠藤央, 世界思想社, 2002年10月, 3,500円+税, ISBN:4-7907-0958-2) [開架2, 389.742||E 59,

0000276502〕

- [6] 『太平洋島嶼諸国論』（小林泉，東信堂，1994年3月，3,495円＋税，ISBN：4-88713-188-7）  
〔開架2，302.7||Ko 12，0000285719〕
- [7] 『オセアニア物語』（鹿児島大学南太平洋海域研究センター編，めこん，1989年9月（2006年5月現在絶版？），2,200円＋税，ISBN：不明）〔所蔵なし〕
- [8] 『世界各国史 27 オセアニア史』（山本真鳥編，山川出版社，2000年8月，3,300円＋税，ISBN：4-634-41570-4）〔開架2，208||Se 1||27，0000235505〕
- [9] 『集英社新書 0273D 太平洋－開かれた海の歴史』（増田義郎，集英社，2004年12月，700円＋税，ISBN：4-08-720273-9）〔文庫本，080||Sh 99||273，0000293022〕
- [10] 『ミクロネシアを知るための58章』（印東道子編著，明石書店，2005年11月，2,000円＋税，ISBN：4-7503-2222-9）〔所蔵なし〕

#### 当時のミクロネシアの状況について

- [11] 『講談社文庫 ベラウの生と死』（澤地久枝，講談社，1997年12月，562円＋税（2006年5月現在品切重版未定），ISBN：4-06-263671-9）〔所蔵なし〕
- [12] 『海の果ての祖国』（野村進，時事通信社，1987年7月，1,800円＋税（2006年5月現在絶版？），ISBN：4-7887-8721-0）〔3 F 和，916||N 95，0000295455〕
- [13] 『日本領サイパン島の一万日』（野村進，岩波書店，2005年8月，2,000円＋税，ISBN：4-00-024238-5）〔所蔵なし〕
- [14] 『中公文庫 Biblio 20世紀 南洋通信』（中島敦，中央公論新社，2001年9月，762円＋税，ISBN：4-12-203900-2）〔文庫本，080||Chu 2||762，0000285879〕
- [15] 『中島敦 父から子への南洋だより』（川村湊編，集英社，2002年11月，3,000円＋税，ISBN：4-08-775315-8）〔3 F 和，915.6||N 34，0000286653〕
- [16] 『中島敦論』（渡邊一民，みすず書房，2005年3月，2,800円＋税，ISBN：4-622-07135-5）〔所蔵なし〕
- [17] 『大本営に見すてられた楽園 玉砕と原爆の島 テニアン』（石上正夫，桜井書店，2001年8月，2,200円＋税，ISBN：4-921190-11-9）〔開架2，210.75||I 73，0000291586〕
- [18] 『母と子でみる 16 南の島の悲劇 テニアン・サイパンの玉砕』（石上正夫編，草の根出版会，1993年8月，2,200円＋税，ISBN：4-87648-095-8）〔開架2，210.75||I 73，0000292550〕
- [19] 『僕が見た「大日本帝国」 教わらなかった歴史と出会う旅』（西牟田靖，情報センター出版局，2005年2月，1,600円＋税，ISBN：4-7958-4302-3）〔開架2，292.09||N 84，0000295457〕
- [20] 『写真で読む 僕が見た「大日本帝国」』（西牟田靖，情報センター出版局，2006年2月，1,600円＋税，ISBN：4-7958-3123-8）〔所蔵なし〕

- [21] 『南洋・権太の日本文学』（川村湊，筑摩書房，1994年12月，2,427円＋税，ISBN：4-480-82314-X）〔3F和，910.26||Ka 95，0000293908〕
- [22] 『日本近代生物学のパイオニア 畑井新喜司の生涯』（蝦名賢造，西田書店，1995年9月，2,427円＋税，ISBN：4-88866-237-0）〔開架2，289.1||H 41，0000292537〕
- [23] 『旧植民地教育史資料集 I 南洋群島教育史』（南洋群島教育會編，青史社，1982年1月，15,000円＋税，ISBN：なし）〔書庫，372.1||KYU1||1，0000104320〕
- [24] 『沖縄県史研究叢書 10 南洋廳施政十年史(影印本)』（沖縄県文化振興会公文書館管理部史料編集室編，2001年3月，非売品，ISBN：なし）〔書庫，219.9||0 52||10，0000296447〕
- [25] 『「観光のまなざし」の転回 越境する観光学』（遠藤英樹，堀野正人編著，春風社，2004年5月，2,381円＋税，ISBN：4-86110-009-7）〔3F和，689||E 59，0000283277〕

#### 旧南洋群島関連の文献について

- [26] 『日本統治下マイクロネシア文献目録』（山口洋兒編著，風響社，2000年9月，8,000円＋税，ISBN：4-938718-98-7）〔開架2，274.031||Y 24，0000251836〕

#### 植民地もしくは同時代の建築活動について

- [27] 『海を渡った日本人建築家 20世紀前半の中国東北地方における建築活動』（西澤泰彦，彰国社，1996年12月，2,800円＋税，ISBN：4-395-00444-X）〔開架2，523.225||N 87，0000193493，0000218322〕
- [28] 『10+1 別冊 20世紀建築研究』（20世紀建築研究編集委員会編，INAX出版，1998年10月（第2版：1999年2月），3,200円＋税，ISBN：4-87275-084-5）〔開架2，523.06||N 73，0000275335〕
- [29] 『Contemporary Human Documents 悲喜劇 一九三〇年代の建築と文化』（同時代建築研究会編，現代企画室，1981年12月，3,000円＋税，ISBN：なし）〔開架2，523.1||D 81，0000276560〕
- [30] 『朝日選書 530 戦時下日本の建築家 アート・キッチュ・ジャパネスク』（井上章一，朝日新聞社，1995年7月，1,553円＋税（2006年5月現在絶版？），ISBN：4-02-259630-9）〔所蔵なし〕
- [31] 『植民地神社と帝国日本』（青井哲人，吉川弘文館，2005年2月，9,500円＋税（2006年5月現在在庫切れ？），ISBN：4-642-03768-3）〔所蔵なし〕

#### 南方を中心とした植民地について

- [32] 『岩波講座 近代日本と植民地 1 植民地帝国日本』（大江志乃夫他編，岩波書店，1992年11月，3,800円＋税，ISBN：4-00-010481-0）〔書庫，210.6||I4||1，0000011982〕〔書

- 庫, 210.6||I4||1A, 0000065043]
- [33] 『岩波講座 近代日本と植民地 2 帝国統治の構造』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1992年12月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010482-9) [書庫, 210.6||I4||2, 0000011983] [書庫, 210.6||I4||2A, 0000065010]
- [34] 『岩波講座 近代日本と植民地 3 植民地化と産業化』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年2月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010483-7) [書庫, 210.6||I4||3A, 0000011984] [書庫, 210.6||I4||3, 0000065015]
- [35] 『岩波講座 近代日本と植民地 4 統合と支配の論理』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年3月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010484-5) [書庫, 210.6||I4||4A, 0000011985] [書庫, 210.6||I4||4, 0000065016]
- [36] 『岩波講座 近代日本と植民地 5 膨張する帝国の人流』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年4月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010485-3) [書庫, 210.6||I4||5, 0000011986] [書庫, 210.6||I4||5A, 0000043509]
- [37] 『岩波講座 近代日本と植民地 6 抵抗と服従』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年5月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010486-1) [書庫, 210.6||I4||6, 0000011987] [書庫, 210.6||I4||6A, 0000043508]
- [38] 『岩波講座 近代日本と植民地 7 文化の中の植民地』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年1月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010487-X) [書庫, 210.6||I4||7A, 0000011988] [書庫, 210.6||I4||7, 0000065017]
- [39] 『岩波講座 近代日本と植民地 8 アジアの冷戦と脱植民地化』(大江志乃夫他編, 岩波書店, 1993年6月, 3,800円+税, ISBN:4-00-010488-8) [書庫, 210.6||I4||8, 0000011989] [書庫, 210.6||I4||8A, 0000125450]
- [40] 『沖縄県史ビジュアル版9 近代② 旧南洋群島と沖縄県人- テニアン- 』(沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編, 沖縄県教育委員会, 2002年2月, 500円(税込), ISBN:なし) [所蔵なし]
- [41] 『20世紀の日本4 植民地 帝国50年の興亡』(マーク・ピーティ著, 浅野豊美訳, 読売新聞社, 1996年12月, 1,942円+税(2006年5月現在絶版?), ISBN:4-643-96028-0) [所蔵なし]
- [42] 『新潮選書 日本植民地探訪』(大江志乃夫, 新潮社, 1998年7月, 1,700円+税, ISBN:4-10-600541-7) [文庫本, 080||43||541, 0000204053]
- [43] 『帝国という幻想 「大東亜共栄圏」の思想と現実』(ピーター・ドウス, 小林英夫編, 青木書店, 1998年8月, 3,800円+税, ISBN:4-250-98005-7) [開架2, 210.6||D 99, 0000276436]
- [44] 『写真図説 日本の侵略』(アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会編著, 大

- 月書店，1992年12月，4,660円＋税，ISBN：4-272-52024-5）〔開架2，210.6||A 27，0000279146〕
- [45] 『生活の中の植民地主義』（水野直樹編，人文書院，2004年1月，1,500円＋税，ISBN：4-409-52051-2）〔開架2，317.8||Mi 96，0000294130〕
- [46] 『歴史文化ライブラリー174 帝国日本と植民地都市』（橋谷弘，吉川弘文館，2004年3月，1,700円＋税，ISBN：4-642-05574-6）〔文庫本，080||R 25||174，0000279864〕
- [47] 『近代日本と東南アジア 南進の「衝撃」と「遺産」』（後藤乾一，岩波書店，1995年1月，3,500円＋税，ISBN：4-00-002744-1）〔開架2，210.6||G 72，0000191086〕
- [48] 『展望日本歴史20 帝国主義と植民地』（柳沢遊・岡部牧夫編，東京堂出版，2001年2月，5,500円＋税，ISBN：4-490-30570-2）〔開架2，210.08||Te 35||20，0000287378〕
- [49] 『日本植民地経済史研究』（山本有造，名古屋大学出版会，1992年2月，6,000円＋税，ISBN：4-8158-0174-6）〔開架2，332.106||Y31，0000140365〕
- [50] 『帝国の研究－原理・類型・関係－』（山本有造編，名古屋大学出版会，2003年11月，5,500円＋税，ISBN：4-8158-0473-7）〔開架2，313.1||Y 31，0000294141〕
- [51] 『知の攻略 思想読本4 ポストコロニアリズム』（姜尚中編，作品社，2001年11月，2,000円＋税，ISBN：4-87893-438-7）〔書庫，304||Ka 43，0000259430〕
- [52] 『講談社選書メチエ 351 帝国論』（山下範久編，講談社，2006年1月，1,600円＋税，ISBN：4-06-258351-8）〔所蔵なし〕
- [53] 『岩波新書 928 ポストコロニアリズム』（本橋哲也，岩波書店，2005年1月，740円＋税，ISBN：4-00-430928-X）〔文庫本，080||I 1-2||928，0000286931〕
- [54] 『1冊でわかる ポストコロニアリズム』（ロバート・J・C・ヤング著，本橋哲也訳，岩波書店，2005年3月，1,500円＋税，ISBN：4-00-026878-3）〔開架2，334.5||Y 95，0000294175〕

(準) 国策会社について

- [55] 『国策会社・東拓の研究』（河合和男・金早雪・羽島敬彦・松永達，不二出版，2000年1月，7,800円＋税，ISBN：4-938303-97-3）〔開架2，335.49||Ka 93，0000278019〕
- [56] 『東洋拓殖会社 日本帝国主義とアジア太平洋』（黒瀬郁二，日本経済評論社，2003年3月，3,800円＋税，ISBN：4-8188-1501-2）〔開架2，335.49||Ku 77，0000294154〕
- [57] 『植民地企業経営史論 「準国策会社」の実証的研究』（久保文克，日本経済評論社，1997年2月，7,500円＋税，ISBN：4-8188-0912-8）〔開架2，335.49||KU 11，0000189465〕
- [58] 『台湾拓殖会社とその時代』（三日月直之，葦書房，1993年8月，5,680円＋税，ISBN：4-7512-0495-5）〔開架2，335.49||Mi 21，0000262484〕

戦争遺跡について

- [59] 『戦跡を歩く』（牧野弘道，ホーム社，2002年7月，1,700円＋税，ISBN：4-8342-5072-5）  
〔開架2，210.75||Ma 35，0000275584〕
- [60] 『しらべる戦争遺跡の事典』（十菱駿馬・菊池実編，柏書房，2002年6月，3,800円＋税，  
ISBN：4-7601-2216-8）〔開架2，210.6||J 87，0000266772〕
- [61] 『続 しらべる戦争遺跡の事典』（十菱駿馬・菊池実編，柏書房，2003年6月，3,800円＋  
税，ISBN：4-7601-2390-3）〔開架2，210.6||J 87||2，0000285699〕
- [62] 『岩波ジュニア新書 454 日本の戦跡を見る』（安島太佳由，岩波書店，2003年12月，780  
円＋税，ISBN：4-00-500454-7）〔文庫本，080||I 5||454，0000293269〕
- [63] 『戦争遺跡が語る太平洋戦争』（太平洋戦争研究会編，日本文芸社，2006年4月，838円＋  
税，ISBN：4-537-25334-7）〔所蔵なし〕

ミクロネシアを対象とした旅行記，滞在記やガイドブックなど

- [64] 『ワールドカルチャーガイド 13 ミクロネシア 「小さな島々」の素顔に出会う』（WCG編  
集室，トラベルジャーナル，1999年11月，1,900円＋税，ISBN：4-89559-473-4）〔開架  
2，297||W 49，0000286000〕
- [65] 『観光コースでない グアム・サイパン』（大野俊，高文研，2001年7月，1,700円＋税，  
ISBN：4-87498-260-3）〔開架2，274||O 67，0000286001〕
- [66] 『新訂版 楽園マニュアル 好きになっちゃったミクロネシア』（下川裕治＋ゼネラルプ  
レス編著，双葉社，2000年1月，1,500円＋税，ISBN：4-575-28848-9）〔所蔵なし〕
- [67] 『太平洋諸島ガイド 南の島の昔と今』（牟田清，古今書院，1991年10月，2,233円＋税  
（2006年5月現在品切れ），ISBN：4-7722-1820-3）〔開架2，297||Mu 91，0000285998〕
- [68] 『南の島に暮らす日本人たち』（井形慶子，ミスター・パートナー，1997年10月，1,200  
円＋税，ISBN：4-7952-8017-7）〔開架2，297.4||I 22，0000285997〕  
→ 『ちくま文庫 い-39-2 南の島に暮らす日本人たち』（井形慶子，筑摩書房，2000年  
7月，600円＋税，ISBN：4-480-03572-9）〔文庫本，080||Chi 5||3572，0000294529〕
- [69] 『旅してみれば パラオ 海／観光編』（上原伸一，あみのさん，2004年1月，1,000円＋  
税，ISBN：4-900585-02-5）〔開架2，297.4||U 36，0000286967〕
- [70] 『天下太平洋物語』（おがわかずよし，旅行人，1997年6月，1,600円＋税，ISBN：  
4-947702-09-5）〔開架2，297||O 24，0000286002〕
- [71] 『やっぱり住みたい南の島』（いしいきよこ，ミスター・パートナー，2004年2月，1,400  
円＋税，ISBN：4-434-04099-5）〔開架2，334.47||I 75，0000294146〕
- [72] 『ミクロネシアで暮らすー協力隊が作った初めてのテレビニュースー』（八坂由美，明石書  
店，2000年10月，2,500円＋税，ISBN：4-7503-1338-6）〔開架2，297.43||Y 61，0000294137〕

- [73] 『鷺の眼が翔る ミクロネシア紀行』（活田刺門，文芸社，2001年12月，1,200円＋税，ISBN：4-8355-2982-0）〔開架2，297.4||I 32，0000295652〕
- [74] 『竜宮に近い島で ヤップ・パラオ旅日記』（活田芝門，講談社出版サービスセンター，2004年1月，1,400円＋税，ISBN：4-87601-670-4）〔所蔵なし〕

#### 歴史的建造物の保存について

- [75] 『新建築学大系 50 歴史的建造物の保存』（新建築学大系編集委員会編，彰国社，1999年4月，7,000円＋税，ISBN：4-395-15050-0）〔開架2 520.8||Ke 1||50 0000212692〕
- [76] 『歴史ある建物の活かし方 全国119の活用事例ガイド』（清水真一，蓑田ひろ子，三船康道，大和智編，学芸出版社，1999年7月，3,500円＋税，ISBN：4-7615-3079-0）〔開架2，521.8||Sh 49，0000222543，0000251731〕
- [77] 『歴史的遺産の保存・活用とまちづくり』（大河直躬編，学芸出版社，1997年6月，3,500円＋税，ISBN：4-7615-3063-4）〔開架2，521.86||0 46，0000229125〕  
→改訂版あり（2006年3月，ISBN：4-7615-3139-8）
- [78] 『現代の建築保存論』（鈴木博之，王国社，2001年12月，1,800円＋税，ISBN:4-900456-94-2）〔開架2，521.6||Su 96，0000270358〕
- [79] 『修復 まちの歴史ある建物を活かす技術』（木村勉，金出ミチル，理工学社，2001年9月，2,500円＋税，ISBN：4-8445-3030-5）〔開架2，523.1||Ki 47，0000254578〕

### 3. 参考 URL

- [1] 辻原の研究室のホームページ  
<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/>
- [2] 立教大学大学観光学部の千住一先生のホームページ  
<http://www5b.biglobe.ne.jp/~senjucl/>
- [3] 太平洋諸島地域研究センターのホームページ  
<http://www.jaipas.or.jp/>
- [4] やしの実大学のホームページ  
<http://www.yashinomi.to/main.html>
- [5] 「〈近代日本の南方関与〉に関する戦後日本刊行文献目録（稿）」（京都大学人文科学研究所のホームページより）  
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/db/nanpou/index.html>
- [6] 「矢内原忠雄南洋群島関係資料展」（琉球大学附属図書館のホームページより）



<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/riyou/tenji/yanai/h7300.html>

[7] University of Guam Micronesia Area Research Center のホームページ

<http://www.uog.edu/marc/>

[8] Micronesia Seminar のホームページ

<http://www.micsem.org/home.htm>

[9] マリアナ政府観光局のホームページ

<http://japan.mymarianas.com/japanese/index.html>

[10] Division of Historic Preservation Office of the Commonwealth of the Northern Marianas Islands のホームページ

<http://www.cnmihpo.com/index.html>

[11] College of Micronesia-FSM のホームページ

<http://www.comfsm.fm/>

[12] Federated States of Micronesia 政府のホームページ

<http://www.visit-fsm.org/index.html>

[13] パラオ共和国政府観光局のホームページ

<http://www.palau.or.jp/>